

製品名: カドヘリン 9 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07837**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	89kDa

抗原情報

遺伝子名	CDH9
別名	CDH9; Cadherin-9
遺伝子 ID	1007.0
SwissProt ID	Q9ULB4
免疫原	抗血清はヒト CDH9 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 201-250

背景

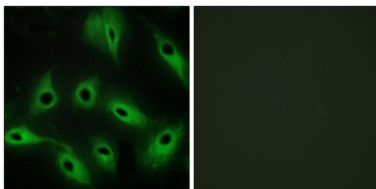
この遺伝子は、カルシウム依存性細胞間接着を媒介する膜貫通タンパク質であるカドヘリンスーパーファミリーに属する II 型古典的カドヘリンをコードしています。成熟カドヘリンタンパク質は、大きな N 末端細胞外ドメイン、単一の膜貫通ドメイン、および高度

に保存された小さなC末端細胞質ドメインで構成されています。細胞外ドメインは5つのサブドメインから構成され、それぞれがカドヘリンモチーフを含み、タンパク質の同種親和性細胞接着活性の特異性を決定していると考えられます。II型（非定型）カドヘリンは、I型カドヘリンに特異的なHAV細胞接着認識配列を欠くことで定義されます。[RefSeq提供、2008年7月]、機能：カドヘリンはカルシウム依存性細胞接着タンパク質です。細胞同士を接着する際に、カドヘリンは優先的に同種親和性に相互作用します。このように、カドヘリンは異種の細胞タイプの選別に寄与する可能性がある。類似性:5つのカドヘリンドメインを含む。

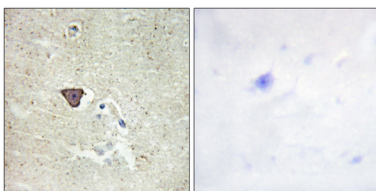
研究分野

アドヘレンス・ジャンクション

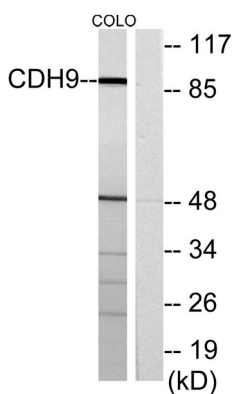
画像データ



CDH9抗体を用いたHeLa細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



CDH9抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CDH9抗体を用いたCOLO細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



カドヘリン9ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析